



カミツレ便り

カミツレ便り
2017年春

.....
Kamitsure Tayori
2017 Spring

国産カモミールのちからで
2017年もすこやかで心地良い暮らしを。



カモミールは太陽が沈むと花びらを静かに下におろして眠りにつきます。
写真はまだ眠たそうな早朝のカモミール。
こんな姿をゆっくりと観察できるのも、カミツレの里に滞在する楽しみのひとつです。

すこやかな心とからだへ カミツレの里でお待ちしております。

カミツレ研究所の北條です。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「本当に確かで安心なものをつくりたい」と、カミツレエキス100%の華密恋薬用入浴剤をスタートさせたのは1982年のこと。カミツレ研究所では、カモミールの溢れんばかりの生命力を製品に閉じ込めて、「お役に立ちたい」という想いのもとに、スキンケアブランド「華密恋」をお届けしてまいりました。

30年以上にわたるあゆみのなかで、さまざまな方と出会い、多くのお客さまの声に触れ、学び感じていることは、日々の「衣・食・住」の大切さ。さらにアトピーや乳がんの患者さんとの出会いや関わりから、病気にならないようなかだづくりをする“予病”の重要性を考えたことをきっかけに、カミツレの里の公開や2015年の八寿恵荘リニューアルに至りました。

わたしたちの想いのご縁は、健康・長寿を目指す長野県の活動のひとつでもあり、カミツレの里がある池田町の「ハーバルヘルスツーリズム」にもつながっています。カミツレ研究所が中心となって推進するこの活動は、慌ただしい毎日を送る人々が、カミツレの里の豊かな自然を感じ、ゆったり過ごすことで、心もからだもすこやかになっていただきたいという思いから始まったものです。

八寿恵荘ではお食事を召し上がっていただく「だいにんぐ」の横に、ゆったりくつろいでいただく「らうんじ」があります。ここは、普段ゆっくりと話すことのできない家族での会話を楽しんだり、お越しくださった皆さまが出会って集い、つながる場所になればという気持ちから。さらに、昨年完成したツリーハウスでは、高い場所から景色を見ることで、自分の気づきや気持ちの変化、また新たな活力を感じたり…。そんな思いをもとにつくりました。カミツレの里では、空気の良さ・景観・土の素晴らしさなど、是非からだ全体で自然のちからを感じていただければ幸いです。

また、今年からはカミツレの里では宿泊だけでなく、四季折々のプログラムとご滞在を通し、皆様が元気になって帰っていただけるツアーをご提案したいと思っています。皆様からのご相談も大歓迎です！

今回のカミツレ便りでは、尊敬する大先輩でもあり、大好きなアバンティの渡邊社長をお迎えした対談もお届けいたします。わたしたちの大切な想いを語っていますので、どうぞお楽しみくださいませ。

これからもすこやかで心地良い暮らしをみなさまにご提案してまいります。
2017年がみなさまにとって、心豊かな一年でありますように。



カミツレの里の四季 自然の恵みを存分に感じていただける四季折々のイベントをご用意しております！

春Spring

遅咲きの桜が終わり、木々の緑が色濃くなる頃、カミツレの里は、可憐な姿で伸びやかに咲き誇る満開のカモミールに包まれます。



- 「八寿恵荘」営業開始 (3月10日)
- 花まつり (6月)
- カモミール収穫体験 (6月)
- 田植え (5月)

秋Autumn

山々が赤や橙に色づく、カモミールの苗を1つずつ植え替える定植作業が始まります。愛情込めて育てたカモミールには自然のパワーがいっぱい。



- 稲刈り (9月)
- カモミール定植体験 (10月)
- 紅葉 (10～11月)

夏Summer

おやさい畑では、太陽の光をたっぷり浴びてつややかに実った夏野菜の収穫真っ只中。大地の恵みをさあ召し上がれ。



- 「おやさい畑」での収穫体験
- 自然体験教室 (8月)
- 種まき (8月)

冬Winter

朝日に照らされた雲海や満天の星空も、空気が澄み切ったこの季節はまた格別。カモミールも雪の下で越冬しながら生命力を蓄えます。



- 雲海
- 星空観賞
- お餅つき

わたしたちが未来へつないでいきたいもの

アバンティ 渡邊智恵子社長 × カミツレ研究所代表 北條裕子



製品の製造、販売の枠を超え、ソーシャル活動など独自の視点でさまざまな取り組みを行っているアバンティとカミツレ研究所。共通点の多い両社のこれまでの歴史と接点、現在の活動への思い、そしてこれからの未来について語ってもらいました。

カモミール栽培を通じた出会い

渡邊 弊社が運営する都市と農村の交流の拠点「小諸エコビレッジ」でカモミール栽培の提案をもらったのがきっかけでしたね。当時、本社を小諸へ移転したいと思っていた時期でもあり、カモミール栽培が小諸の自立した一つの事業になり得ると思った記憶があります。単なる農業体験ではなく、栽培し、育ったカモミールを買い取ってもらうことによる外的な収入源にもなると思い、すぐに栽培の指導をお願いしました。震災後も福島野田村へ一緒に行きカモミールを植えたのですが、雇用の創出こそが私たちができる支援のカタチだなと実感したのを覚えています。

北條 私は以前から先輩経営者として、また尊敬できる女性の一人として渡邊社長を存じ上げていたのですが、小諸での子供教育プログラムに強く感銘を受けたことが、現在のカミツレの里での自然体験教室や大学生のファームステイ、小学生を対象としたサマーキャンプ型環境授業・農業体験などを発展させるきっかけにもなりました。

こどもたちへメッセージを届ける



渡邊 その後に、アバンティのソーシャル活動のひとつとして立ち上げた一般社団法人「わくわくのびのびえこども塾」の理事になっていただいたんですよ。12名の理事は全員女性経営者。子供の成長を最も考えている

女性たちが中心となって、次世代を担う子供たちを育成することを目的に立ち上げた事業です。子供た

ちに、生きていくための原点である「衣・食・住」について、自然のなかで持続可能な暮らしを実際に体験してもらい、遊びや生きることを学んでもらう場を提供しています。

北條 最近、カミツレの里での農業体験プログラムを通して感じるのですが、年々、全国の子供たちが抱えているストレスが増えていることに気づかされます。カミツレの里で行っている小学生対象のサマーキャンプでもまず自由に遊べない子供たちがとても多い。キャンプが始まってなかなか溶け込めず、新しい環境（自然）と交じり合うことが難しいのです。また、食事や環境の制限ゆえに外出や旅行が難しい、アトピーや喘息に悩む子供たちが参加できる「自然体験教室」でも土に触れることで、体を中性にし、自然の中で心身共にリセットできるよう、さまざまなプログラムを提供しています。身体だけでなく、メンタル面でもストレスを抱える子供たちのケアにスタッフ一人ひとりが全力で向き合っても足りないほどです。最近では子供だけでなく住宅の合成建材で突如アナフィラキシーショックを起こすような大人も増えているようです。

渡邊 本当に怖いですね。寝る時でも携帯電話を枕元に置いて生活するような現代社会には問題が山積みだと思います。子供たちに自然体験の中で元気になってもらうことが私たちの共通の使命なのかもしれません。



体験できる拠点づくり

渡邊 昨年の2月から、オーガニックコットンビジネスとは別に国内産の鹿肉を原料としたペットフードのブランド「鹿のめぐみ」を広めるために一般財団法人森から海へを立ち上げました。生態系を壊している増えすぎた鹿を減らし、森を正常にしたい、鹿の命を無駄にしないという二つの思いから誕生したブランドです。現状のペットフード業界は劣悪そのもの。国産オーガニックのフードでペットたちを救えればと、そんな思いがあったのです。

北條 渡邊社長のオーガニックに対する思いはとても深く素晴らしいですね。環境や社会に対して常に真剣に向き合い、問題視する目を持っていらっしゃる。地球レベルの思いやりを感じます。私は、カミツレの里を通して、これまで行ってきたアトピーや乳がんの患者さんなどのケアをこれからも継続的に、さらには子供の体験プログラムを提供していきたいです。また、里を訪れた子供たちに挨拶や箸の使い方など日本人としての礼儀や作法、日本固有の良き慣習を継承していきたいとも思っています。そして、カミツレの里、小諸エコビレッジだけでなく、他の施設と協力し合いながら、子供たちがテーマの異なるプログラムをいろいろなところで体験できるよう拠点を増やしていく展開も。是非一緒に目指してゆければと思っています。

ゲスト/渡邊 智恵子社長

1985年、株式会社アバンティ設立、代表取締役就任。
1996年、オーガニックコットンのオリジナルブランド『プリスティン』をスタート。2011年、小諸エコビレッジ設立。東北復興支援「東北グランマの仕事づくり」を開始。2012年、「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」を開始。2013年、福島の子どもに生きるための衣食住を教える「わくわくのびのびえこども塾」塾長に就任。2016年、一般財団法人森から海へ設立、代表理事就任。

いつまでも若々しく元気であるために 対馬ルリ子先生による講演会開催！

10月15日（土）池田町にて対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長の対馬ルリ子先生を迎え、講演会を開催致しました。テーマは「いつまでも若々しく元気であるために」。女性が心身ともに健康であるためのポイントや、病気の予防をすることの重要性等を中心にお話いただきました。すぐに実践できる内容も多く、ご来場の皆様はとても熱心に耳を傾けて下さいました。



健康的に美しく！

土井卓子先生と行く秋の安曇野ツアー

11月11日～12日、湘南記念病院 乳がんセンターの医師を務める土井卓子先生とサバイバーの方々、総勢27名の皆様がカミツレの里にお越しくださいました。土井先生は治療のみならず、乳がんに対する啓発活動としてさまざまな講演や執筆などを行っています。「健康的に美しくなること」をコンセプトに企画された今回のツアーでも、ストレスケアやメンタルケアがいかに健康維持に大切か、そしてストレスに対してカミツレがどのような働きをするのかについてお話いただきました。また、ゲストで参加された元宝塚の真織由季さんによるストレスケアセミナーや朝ヨガも開かれ、リラックスした雰囲気の中、充実した2日間になりました。



「健康長寿 長野県と池田町の ヘルスツーリズムの未来を考える会」開催！

12月7日（水）池田町にてヘルスツーリズムのシンポジウムが開催され、200名以上の参加者の中、長野県の阿部知事や、「命の食事」という独自の思想で話題のナグモクリニック総院長南雲吉則先生らを迎えたトークセッションが行われました。八寿恵荘が担うべき使命や役割を再確認し、これからも池田町と共にこの活動を続けていきたいと改めて感じたひとときでした。



八寿恵荘が「グッドデザイン賞」を受賞しました！

「グッドデザイン賞」とは、くらしや社会全体をより豊かなものへと導くことを目的とした総合的なデザインの推奨制度（公益財団法人日本デザイン振興会主催）。BIO HOTEL® 認証も取得している八寿恵荘は、安心して過ごせる「体にやさしい」ホテルとして、サービスや取り組みに評価をいただき、この名誉ある賞を受賞。これまで培ってきたことを評価いただき、スタッフ一同、気が引き締まるとともに、これからも賞の名に恥じないような価値を皆様にご提供させていただきたいと思っております。



新しい旅のかたち「ビオツーリズム」その2 ドイツ・ミュンヘンで出合った“100%BIO！”

今回ご紹介するのは、ミュンヘンから約1時間のところにあるホテル「Alter Wirt」。もともとはBIOレストランでしたが、遠方より訪ねてくるゲストのために宿泊施設を併設し、BIO食料品店を広げ、現在は地元の人からも旅行者からも親しまれるBIO HOTEL&レストランとして運営されています。

このホテルは、2013年5月、一般社団法人日本ビオホテル協会を立ち上げる時に打ち合わせで訪問した思い出深い場所です。ランチミーティングが終わりかけた時にサーブされたチョコレートデザート。そのリッチな味に思わず「これもBIO？なんて濃厚で美味しいんでしょう！」と声に出していました。すると、オーナー夫人がすかさず、「何を言っているの～、ここは100%BIOよ！」とニコッとウインク。そこには一般品となんら変わりなく、存分に楽しむことのできるBIOの環境、日常に当たり前のように根付いているBIOの存在がありました。

文・写真 一般社団法人日本ビオホテル協会理事 中石真由子



「Alter Wirt」の外観。地元の人たちも気兼ねなく食事やパーティで利用する場所です。



BIO100%のチョコレートデザート。濃厚かつ上品な甘さは、素材の良さを実感します。

BIO HOTEL® とは滞在するゲストの健康や自然環境に配慮した健やかで安らぎのあるエコ・オーガニックホテル。
八寿恵荘は、日本初のビオホテル認証を取得しています。



華密恋よりお知らせ

今だけの限定アイテム

数量
限定

バス&ボディケアコフレ
『華密恋 カモミール・カモミール』
4,000円＋税

大切な人への贈り物に。
自分へのご褒美に。

保湿力に優れた人気商品をセットにした数量限定のお得なコフレです。
自社農園原料使用の薬用入浴剤とスキンバームを、満開のカモミールに包まれているような春らしいスペシャルパッケージでお届け。
カモミール柄の手ぬぐい付き。



- 華密恋薬用入浴剤 400mL
- 華密恋 スキンバーム 25g
- 華密恋 オリジナル手ぬぐい

オンラインショップやお電話にて
お問い合わせいただけます。
<http://www.kamitsure.jp/>
☎ 0120-57-8320



メディア掲載情報

カミツレの里、華密恋、八寿恵荘が紹介されました！



ことりっぷ 2016年秋号（昭文社）

連載「暮らしと旅と…」で「おいしいハーブが生み出す環」として池田町が取り上げられました。カミツレを使った料理や華密恋の湯をはじめとする八寿恵荘のこだわりやカミツレの栽培の話、「ハーブの町」池田町の魅力まで、6ページにわたってたっぷり紹介されています。



クロワッサン 11月25日号（マガジンハウス）

クロワッサン倶楽部の読者モデル会員が肌で感じ、目で見えたものを誌面やWEBで発信する「これ、イイかも」で華密恋薬用入浴剤が選ばれ、栽培から製造まで手間も愛情もかけているカミツレエクスについて北條が取材を受けました。八寿恵荘も掲載されています。



エル ELLE マリアージュ 12月7日発売号（ハースト婦人画報社）

自由に、楽しく、センスよく、おしゃれに結婚したい！フランスのモード誌「ELLE(エル)」のウエディング情報誌にて、「カモミールの花畑でかなえるフラワリーウエディング」として、八寿恵荘のアットホームなオーガニックウエディングが紹介されました。

カミツレ便り 2017年春 通巻36号(不定期発行)

発行：カミツレ研究所 ☎ 0120-57-8320 <http://www.kamitsure.co.jp>

八寿恵荘 TEL:0261-62-9119(平日10:00～17:00) <http://yasuesou.com>

〒399-8604 長野県北安曇郡池田町広津4098 ※八寿恵荘は3月9日まで冬期休館となります。休館中もお問い合わせは承っております。

